

令和元年度 情報と表現の管理 年間指導計画案 (2単位)

教科書 : 『情報の表現と管理』(実教出版)
 学習書 : なし

指導者 水守 裕史

1. レポート別学習内容・評価基準

レポート	項目	内容	区分	レポート標準提出時期	テスト	テスト時期	評価基準
R 1	情報活用とメディア情報の表現	メディアの種類と特性 コミュニケーションの基礎 文書による表現	p5 ～ P29	5月上旬	7月テスト	6月30日	メディアの特性と情報の定義、コミュニケーションの定義、文書の基本的な構成が理解できていれば合格とする。
R 2	情報の表現	図解による表現	P30 ～ p41	5月下旬	T 1	7月1日	図解の意義、種類、特性が理解できていれば合格とする。
R 3	情報の表現	音による表現 画像による表現	P42 ～ P75	6月中旬		音声及び音楽データの特性、デジタル画像の意義が理解できていれば合格とする。	
R 4	情報の表現	動画像による表現 プレゼンテーション	P76 ～ P111	10月上旬		1月12日	映像の種類と特性、プレゼンテーションの意義が理解できていれば合格とする。
R 5	情報の表現	ネットワークを利用した情報発信	P112 ～ p142	11月上旬	T 2	1月13日	電子コミュニケーションの意義と特徴、ネットワークとインターネットの仕組みが理解できていれば合格とする。
R 6	情報の管理	ドキュメンテーション 情報の管理 コンピュータによる情報の管理と活用	P143 ～ P180	12月上旬		ドキュメンテーションの定義と重要性、個人情報の大切さを理解し、関連する法規の理解を深めることができなければ合格とする。	

2. 評価方法と基準および項目

5段階の基準

評価	レポート(R)テスト(T)についてそれぞれ5段階で表し、5段階の表示は、5, 4, 3, 2, 1とする。 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの 十分満足できると判断されるもの おおむね満足できると判断されるもの 努力を要すると判断されるもの 努力を要すると判断されるもののうち、特に低い程度のもの	5 4 3 2 1とする。
----	--	---------------------------

認定の基準

レポート(R)評価 5段階の5, 4, 3, 2
 テスト(T)評価 5段階の5, 4, 3, 2
 スクーリング(S)超過率 1単位3時間のスクーリング規定時間数を100%以上出席
 レポート(R)評価・テスト(T)評価・スクーリング(S)超過率の3本柱が満たされたものに、さらに総括的に評価して、単位の修得を認定する。
 レポート(R)評価・スクーリング(S)超過率の2本柱が満たされたものに、さらに総括的に評価して、単位の履修を認定することがありうる。

項目の基準

レポート(R)評価	5段階の5 85%程度から100%までの理解 5段階の4 70%程度から85%程度までの理解 5段階の3 55%程度から70%程度までの理解 5段階の2 40%程度から55%程度までの理解 5段階の1 0%から40%程度までの理解 5段階の1に相当する場合は、再提出により学習の深化をめざし、評価を5段階の1の状態から改善させる。
レポート(R)提出時期	標準提出時期との比較により、計画的な学習により着実な成果をあげているかを考慮する。 「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の4つの観点による評価を加味する。
テスト(T)評価	5段階の5 81%程度から100%までの理解 5段階の4 71%程度から80%程度までの理解 5段階の3 41%程度から70%程度までの理解 5段階の2 30%程度から40%程度までの理解 5段階の1 0%から29%程度までの理解 5段階の1に相当する場合は、再受験により学習の深化をめざし、評価を5段階の1の状態から改善させる。
スクーリング(S)超過率	スクーリング出席状況により、積極的な学習をおこない質的な向上がみられるかを考慮する。 「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の4つの観点による評価を加味する。